

問1 近年のアジアにおける自動車保有台数の変化と、その背景にある社会状況についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年

京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. インドなどの新興国では経済発展によって自動車保有台数が急増しているが、日本は人口あたりの保有水準では依然として高い位置にある。 | 2. インドの人口あたりの自動車保有台数が日本の水準を上回ったことで、アジアにおける自動車の普及は飽和状態に達した。 | 3. 日本などの先進国では若者の車離れにより保有台数が2010年から半減しており、アジアの自動車市場はインドー極集中となっている。 | 4. アジア各国では環境規制の強化により、2010年代後半からインドを含むすべての国で自動車保有台数が減少に転じている。 |
|--|--|---|--|

問2 中国の南に隣接し、インドシナ半島の東側に位置するベトナム社会主義共和国の歴史や文化について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2015年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 食文化においては、米の粉ではなく小麦粉を原料とした「ナン」と呼ばれるパンが主食として広く食べられている。 | 2. 1960年代から70年代にかけて、社会主義勢力の拡大を阻止しようとしたアメリカ合衆国と戦争を行った歴史がある。 | 3. 東南アジア最大の島しょ国であり、多くの島々から構成される地理的特徴を持っている。 | 4. 大分県内の国・地域別留学生数(2013年度)の統計において、韓国や中国を抜いて第1位となっている。 |
|---|--|---|--|

問3 アジアの自然環境と農業の関係について述べた文として、季節風の影響を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 夏に海洋側から吹き込む湿った風が山脈などにぶつかって多量の雨を降らせ、稲作に適した環境を作っている。 | 2. 赤道付近から常に一定の方向に吹く風の影響により、一年を通じて高温多湿な熱帯雨林気候が維持されている。 | 3. 一年中西から東へ一定の方向に吹く風の影響で、季節による降水量の変化がほとんど見られない。 | 4. 昼と夜で吹く方向が入れ替わる風によって、沿岸部では一日の気温の変化が非常に小さくなっている。 |
|---|---|---|---|

問4 1980年から2023年にかけて、マレーシアの輸出総額は約24倍へと急増しました。この期間の貿易構造の変化において、輸出額そのものは増大しているものの、工業化の進展により輸出全体に占める割合(構成比)が相対的に低下している、アブラヤシを原料とする一次産品は何ですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. スズ | 2. パーム油 | 3. 天然ゴム | 4. 原油 |
|-------|---------|---------|-------|

問5 現代社会において主要なエネルギー源であるだけでなく、プラスチックなどの化学工業製品の原料としても広く利用されている液体状の鉱産資源があります。2013年の統計において、ロシアが世界全体の13.5%、サウジアラビアが13.0%、アメリカ合衆国が10.0%の生産量を占めているこの資源は何ですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|-------|-----------|
| 1. 天然ガス | 2. 鉄鉱石 | 3. 石炭 | 4. 原油(石油) |
|---------|--------|-------|-----------|

問6 マレーシアの産業や経済状況について述べた文として、現在の統計的な特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 広大な国土で大規模な小麦の栽培や羊の放牧を行い、鉄鉱石などの鉱物資源とともに輸出の柱としている。 | 2. 特定の農産物であるカカオの輸出に依存するモノカルチャー経済から脱却できず、工業化が遅れている。 | 3. 工業化の進展により機械類の輸出が最大となっているが、パーム油や天然資源の輸出も重要な地位を占めている。 | 4. 製造業がほとんど発達していないため、輸出額のほぼすべてを原油と石油製品が占めている。 |
|---|--|--|---|

問7 北京の気候統計を見ると、年間の降水量が約717mmであるのに対し、その大部分が夏季に集中し、冬季は極めて乾燥して気温が低くなるという特徴があります。このような季節による降水量や気温の大きな変化を生じさせる要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 北極からの寒流が夏に勢力を強め、大陸沿岸部の気温を急激に下げること上昇気流が発生しやすくなるため。 | 2. 赤道付近で発生した低気圧が、年間を通じて湿った暖かな空気を大陸の内部へ一定の周期で運び続けるため。 | 3. 一年中西から吹く強い風が、巨大な山脈にぶつかることで、山の東側に位置する都市に安定した雨を降らせるため。 | 4. 季節によって吹く方向が変わる風が、夏には海から湿った空気を、冬には大陸から冷たく乾いた空気を運ぶため。 |
|--|--|---|--|

問8 世界の主要な穀物である米と小麦の統計を比較すると、生産量はいずれも年間約7億トン前後と同程度ですが、輸出量は小麦が約1.5億トンであるのに対し、米は約0.4億トンと極めて少なくなっています。このように米の輸出量が生産量に比べて少ない理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 米の栽培には大量の水が必要であり、輸出用の大規模な生産を行うと環境破壊につながる恐れがあるため。 | 2. 米は小麦に比べて生産に手間がかかり、機械化が困難なため、自給自足以上の余剰生産がほとんど行われていないため。 | 3. 米は小麦に比べて国際価格が低く、輸送コストをかけると利益が出にくいいため、国際的な取引が制限されているため。 | 4. 米の生産地の多くは人口が密集するアジア地域に集中しており、主食として生産地で消費される割合が高いため。 |
|---|---|---|--|

問9 東南アジアに位置する島国のうち、1人あたりの国民総所得が約3,950ドルで、輸出額の品目別割合において機械類が63.0%と過半数を占め、次いで野菜や果実、精密機械の順に輸出が多い国はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-------|
| 1. インドネシア | 2. マレーシア | 3. フィリピン | 4. タイ |
|-----------|----------|----------|-------|

問10 中国の農業分布をまとめた資料によると、東部の沿岸地域では稲作や小麦の栽培が広く行われていますが、標高が高い内陸から西部にかけての地域において、自然環境に適応するために最も卓越している農業の形態はどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|
| 1. 傾斜地を切り開いた茶や果樹の栽培 | 2. 豊富な水を利用した二期作による稲作 | 3. 牛や羊などを飼育する牧畜 | 4. 冷涼な気候を活かした大規模な小麦栽培 |
|---------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|

問11 南にインド洋、北にヒマラヤ山脈が位置するバングラデシュ周辺の地形的条件が、この地域の降水量にどのような影響を与えているか、その背景を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 周囲を高い山脈に囲まれた盆地であるため、外からの湿った空気が入り込まず、森林が育たないほど乾燥している。 | 2. インド洋を流れる寒流の影響で大気が安定しており、上昇気流が起こりにくいため乾燥した気候となっている。 | 3. インド洋から吹き込む湿った季節風がヒマラヤ山脈に遮られて上昇することで、大量の雨をもたらしている。 | 4. ヒマラヤ山脈から吹き下ろす乾燥した冷たい風が雲の発達を妨げるため、年間を通じて降水量が抑制されている。 |
|---|---|--|--|

問12 東南アジア諸国では、2000年から2018年にかけて人口が増加し、特にインドネシアの人口規模が大きくなっています。また、地域全域で1人当たりの国民総所得も大きく成長しました。このように、人口増と経済成長によって、商品やサービスを消費する場としての価値が高まることを何といいいますか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|----------|-----------|------------|
| 1. 持続可能な開発 | 2. 市場の拡大 | 3. 産業の空洞化 | 4. 南北問題の解消 |
|------------|----------|-----------|------------|